

本学定期刊行物総目次(七)

一橋大学研究年報

一橋学会編・勁草書房

商学研究 15

船舶の技術進歩と企業集中……………地田知平

——「ロッチデール報告」を資料にして——

H・ソイヴェインの投資方針論の構成と問題点……………木村増三

銀行行動と金融組織の機能と効率性……………山下邦男

法学研究 8

シベリア出兵の序曲……………細谷千博

ウールリクス・フリーベルス『法抵触論』註解……………塚場準一

正当防衛の限界とその過剰……………村井敏邦

——歴史的考察——

人文科学研究 12

かなはなぜ濁音専用の字体をもたなかったか——

三三 一 三三 一頁

をめぐって かたる かめいたかし
「ケットの叛乱」(Ket's Rebellion) をめぐって 米川 伸 一
——富岡次郎教授の高説に対するささやかな疑点——
想像力の位置 広 田 昌 義
——モンテーニュからデカルトへ——

人文科学研究 13

キーツの位置 菊 池 亘
フランス啓蒙史観の系譜及び特質 高 橋 安 光
初期古英語の仮定法——その形態と用法 久 保 内 端 郎

人文科学研究 14

瀬沼夏葉 その生涯と業績 中 村 喜 和
デカルト的方法についての試論 福 居 純

自然科学研究 13

テニスの起源と発達について 鈴 木 正
自然科学情報の新分類 岡 山 誠 司
冪集合の公理の相対無矛盾性 永 島 孝
体育と徳育 小 林 一 久

一三三 一三五 一三六 一三九 一四〇 一四一 一四二 一四三 一四四 一四五 一四六 一四七 一四八 一四九 一五〇 一五一 一五二 一五三 一五四 一五五 一五六 一五七 一五八 一五九 一六〇 一六一 一六二 一六三 一六四 一六五 一六六 一六七 一六八 一六九 一七〇 一七一 一七二 一七三 一七四 一七五 一七六 一七七 一七八 一七九 一八〇 一八一 一八二 一八三 一八四 一八五 一八六 一八七 一八八 一八九 一九〇 一九一 一九二 一九三 一九四 一九五 一九六 一九七 一九八 一九九 二〇〇

——明治一三年前後を中心にして——

經濟研究

一橋大学經濟研究所編・岩波書店

經濟研究二卷四号

論 文

資本主義と社会主義の決定的な相違点について……………	都 留 重 人	三 卷	四 号	二 七 頁
中国社会主义における「分業の廃棄」……………	山 内 一 男	三 卷	四 号	三 〇 頁
社会主义的所有についての一考察……………	岡 稔	三 卷	四 号	三 三 頁

特別寄稿

Советская экономика в девятой пятилетке …… Дереник Аглахвердян		三 卷	四 号	三 三 頁
Planned Control and Management of the Socialist Economy in Hungary …… Nagy Tamás		三 卷	四 号	三 四 頁
Теоретические проблемы реформы цен …… Бронислав Минци		三 卷	四 号	三 五 頁
金日成首相によって確立された社会主义經濟管理体系について……………	朴 庸 坤	三 卷	四 号	三 六 頁
——大安の事業体系を中心として——				
調査				
振替ループルをめぐる諸問題……………	野々村一雄	三 卷	四 号	三 七 頁
寄 書				

DDRにおける社会主義経済学の問題提起	百	濟	勇	三	四	六四
——一九六九年出版の経済学教科書と関連して——						
H・A・ツマロフ編『経済学教程、第二卷、社会主義』について	小野	一郎		三	四	六八
書評						
岩田昌征『比較社会主義経済論』	藤	田	整	三	四	三三
青木昌彦『組織と計画の経済理論』	飯	尾	要	三	四	三九
福富正実『共同体論争と所有の原理——資本論体系と広義の経済学の方法——』	森	本	芳	三	四	三六
Д. П. Кайдалов, Закон перемены труда и всестороннее развитие человека	中	野	雄	三	四	三二
В. С. Немчинов, Общественная стоимость и плановая цена	望	月	喜	三	四	三〇
D. D. Milenkovič, Plan and Market in Yugoslav Economic Thought	岩	田	昌	三	四	三〇
Б. Л. Исаев, Интегрированные балансовые системы в анализе и планировании экономики	野	村	良	三	四	三〇
В. С. Дадян, Экономические законы социализма и оптимальные решения	宮	鍋	穰	三	四	三〇

橋本勲『商業資本と流通問題』	中野安	三	一	六
江見康一『資本形成』	朝倉孝吉	三	一	六
山田秀雄『イギリス植民地経済史研究』	林武	三	一	六

経済研究二三卷二号

論文

アダム・スミスの歴史認識とウィリアム・ロバートソン	大野精三郎	三卷	二号	七頁
岡橋保教授の物価構造論	高須賀義博	三	二	一〇五

特別寄稿

Einige Grundzüge der zentralen staatlichen Planung der Volkswirtschaft in der Deutschen Demokratischen Republik	Rolf Bönisch Rolf Pieplow Eberhard Seifert	三	二	一七
---	--	---	---	----

調査

日本経済論の展望〔戦前の部 その1〕	寺西重郎	三	二	三三
--------------------	------	---	---	----

寄書

An Application of Continuous-time Stochastic Control to a Problem of Dynamic Portfolio Choice	Koichi Hamada	三	二	三六
多重共線性について	根津永二	三	二	三六
最適関税と最大収益関税	厚見博	三	二	三九

農協理論の方法……………	佐伯尚美	三三	二	一七三
兵藤剣著『日本における労資関係の展開』について……………	丹生谷龍	三三	二	一七九
書評				
中村隆英『戦前期日本経済成長の分析』……………	尾高煌之助	三三	二	一八五
玉垣良典『日本資本主義構造分析序説』……………	大内秀明	三三	二	一八七
梅村又次『労働力の構造と雇用問題』……………	小林謙一	三三	二	一八九
長幸男・住谷一彦編『近代日本経済思想史Ⅰ・Ⅱ』……………	玉野井芳郎	三三	二	一九一
論文				
中国の技術選択について……………	石川滋	三三	三	一九三
経済成長下における人民生活水準の向上及び				
農民・非農民間の格差の拡大……………	張漢裕	三三	三	一九五
——台湾の場合——				
ロシア論におけるマルクスとエンゲルス……………	淡路憲治	三三	三	二〇四
——平田・竹内論争を中心として——				
日本・台湾・韓国における農家行動の比較……………	溝口敏行	三三	三	二〇五
戦前期日本経済における稼働率の測定……………	尾高煌之助	三三	三	二〇六
調査				
多国籍企業の行動と論理……………	佐藤定幸	三三	三	二〇六

——とくに国家主権と関連して——

寄 書

非資本主義発展の基礎条件

本 多 健 吉

三

三

三六

——「マニスマ」ロビン論」を中心にして——

書 評

根岸隆・渡部福太郎編『日本の貿易』

相 原 光

三

三

三六

渋谷行雄『消費者需要の分析』

溝 口 敏 行

三

三

三六

HITOTSUBASHI JOURNAL

HITOTSUBASHI JOURNAL OF COMMERCE & MANAGEMENT Vol. 7 No. 1 (Whole Number 7) May 1972

Articles

Die Entstehung der Lloyd's Seevericherungspolice Eichichi Kimura 1

Selling Job—Present and Future Koichi Tanouchi 36

A Study on the Value of Money—The Two Approaches Toshiya Hanawa 45

Commodities and "Kogai"—A Framework for Studying Their

Causal Relationships Hiroshi Kataoka 60

HITOTSUBASHI JOURNAL OF ECONOMICS Vol. 12 No. 2 February 1972

Banner Estates and Banner Lands in 18th Century China	
——Evidence from Two New Sources	Yuji Muramatsu 1
Rural Servants in the 18th Century Maharashtra Village	
1 ——Demiurgic or Jainani System?	Hiroshi Fukazawa 14
Industry Growth and Foreign Trade	
——A Study of Japan's Steel Industry——	Ipppei Yamazawa 41
The Growth Rate as a Determinant of the Saving Ratio	Kunio Yoshikawa 60
HITOTSUBASHI JOURNAL OF ECONOMICS Vol. 13 No. 1 June 1972	
Nontariff Barriers to Japan's Trade	Kiyoshi Kojima 1
Consumer Prices and Real Wages in Taiwan and Korea under Japanese Rule	Toshiyuki Mizoguchi 40
Transformations of the Labor Market in Postwar Japan	Ryoshin Minami 57
HITOTSUBASHI JOURNAL OF ARTS & SCIENCES Vol. 12 No. 1 (Whole Number 12) September 1971	
<i>Articles</i>	
OE <i>pâtr</i> and <i>hœder</i>	
——A Study of <i>Where</i> Developing in the Subordinating Function (I)	Kiituo Yamakawa 1
Tennyson's "Lucretius": an Interpretation	Taiji Yamada 20
Between "No Way Out" and "Way Out"	Nobuyuki Hirano 26
De l'imagination pascalienne	Masayoshi Hirota 36

ビジネス レビュー

一橋大学産業経営研究所・ダイヤモンド社

ビジネス レビュー 一九卷二号

企業の社会的責任

社会責任論の経営学的考察	山城章	元	二	二	頁
公害と企業責任の達成条件	菊池敏夫	元	二	二	七
経営の価格政策と消費者運動	矢島基臣	元	二	二	元
——その役割に対する経営的一考察——					

自由論文

企業の研究開発と産業組織	今井賢一	元	二	二	元
--------------	------	---	---	---	---

研究ノート

レビットの企業の社会的責任論について	対木隆英	元	二	二	五
企業目的と社会的責任	桜井克彦	元	二	二	五
——両者の関連についての一考察——					

文献

経営学文献目録(昭和四六年三月一日～五月三十一日)	資料室	元	二	二	六
---------------------------	-----	---	---	---	---

ビジネス レビュー 一九卷三号

制度会計の問題点

(109) 本学定期刊行物総目次

商法上の計算と継続性の原則	森田哲彌	一元	三	二
仮決算の基準	中村忠	一元	三	一
西ドイツの連結調整勘定	白鳥庄之助	一元	三	三
——連結財務諸表制度化の一側面——				
研究ノート				
適法性と適正性をめぐる問題	内山力	一元	三	三
年次決算に於ける財産法思考	吉田威	一元	三	〇
資料				
「セメント製造会社」の固定資産と資本調達(1)	藤津清治	一元	三	七
文献				
経営学文献目録(昭和四六年六月一日〜八月三十一日)	資料室	一元	三	三
ビジネス レビュー 一九卷四号				
証券分析と投資管理				
普通株の評価算式について	木村増三	一元	四	二
証券投資の行動基準	杉江雅彦	一元	四	三
ケイ線分析とプロット・パターン分析との関連性	上領英之	一元	四	三
自由論文				
公企業財務会計の特質について	西川義朗	一元	四	二
研究ノート				

利子率の期間別構造論における長期利子率の 扱い方について……………	稲垣寛	一九	四	五
展 望				
「岐路に立つ経営学——七〇年代の経営学の課題——」……………	鈴木英寿	一九	四	六
——日本経営学会第四五回大会——				
文 献				
経営学文献目録(昭和四六年九月一日～一月三〇日)……………	資料室	一九	四	六
——ビジネスレビュー二〇巻一号				
消費者問題				
コンシューマリズムの本質とその展開……………	田内幸一	二〇	一	二
消費者利益と広告表現……………	小林太三郎	二〇	一	三
——広告向上委員会のマニュアルを中心にして——				
消費者の権利と競争秩序……………	正田彬	二〇	一	六
自由論文				
企業行動と情報交換……………	今井賢一	二〇	一	四
——鉄鋼業の設備投資と価格形成をめぐって——				
研究ノート				
消費者のショッピング・センター評価基準の計量分析……………	田村正紀	二〇	一	四
消費者主義とマーケティング理念……………	吉村寿	二〇	一	四

文献

経営学文献目録(昭和四六年二月一日～
四七年二月二九日)……………資料室 二〇一 頁

言語文化

一橋大学語学研究室

言語文化 第八号

論説

言語モデルにおける層構造

——Konstituenz と Dependenz……………三城満禧 八号 三頁

シェクスピア『ソネット集』の波紋……………菊池亘 八 三

「Schelunffsky 護語漫遊記」雑考抄……………新井皓士 八 四

研究ノート

「種痘論争」覚書

——百科全書派の運動と関連して……………高橋安光 八 七

ディスクールと解釈……………久米博 八 八

テイト美術館にて……………宮下忠二 八 七

書評

Maurice Edger Coindreau: *The Time of*

William Faulkner

——A French View of Modern American Fiction	平野 信行	八	104
Mario Praz: <i>Mnemosyne</i>	河村 錠一郎	八	109
Hans Erich Nossack: <i>Die schwache Position der Literatur</i>	井上 修二	八	110
Charles Rihis: <i>Philosophes Utopistes</i> —— <i>le mythe de la cité communautaire</i> <i>en France au XVIII^e siècle</i>	吉田 映子	八	114
駒田信二『対の思想』	木山 英雄	八	119